様式３(2015.06改)

作成日　平成 28 年　3 月　9 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000185
事業所名	東海橋苑グループホーム東起

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	ホームの秋祭りに近所の親子連れが来たり、行事では近くの駐車場を貸してもらえる関係ができている。落語やマジシャン、歌、フラダンス、ハンドケアマッサージ、傾聴のボランティア来訪、地域の敬老の集いや学区の防災訓練への参加をして交流を図っている。今年度は、専門学校の実習生を2週間3名の受け入れを行ない、利用者と関わってもらった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	年6回開催され、いきいき支援センター職員、民生委員、町内会長、家族、利用者が参加している。会議で地域の敬老の集い、神社の式典、赤い羽根募金の案内などの行事を教わり、ホームからは祭りなどのイベント、利用者や職員の状況、研修内容を伝え情報交換を行っている。会議で公表したことでホームの秋祭りでは地域の親子連れの参加を得られた。会議の議事録を職員は各階に配って回覧し、家族には玄関に置くことで情報共有をしている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	区役所へ認定調査や生活保護の関連で出向いたり、郵送したりして直ぐに対応される関係ができている。いきいき支援センターから家族サロン参加の声をかけてもらい、出席し、他事業所とも顔見知りになる機会を得られた。運営推進会議議事録を市役所健康福祉課にFAXを送って内容を報告している。名古屋市社会福祉協議会主催のキャリアアップ研修に今年度も参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	毎月家族へのホーム便りに、一人一人の様子が分かるようにコメントを添えて郵送している。今年度から請求書と共に個々の利用者の写真を入れるようにしている。家族会は無いがホームの行事や面会時、運営推進会議、電話等で話を聞く機会がある。家族から出た意見や要望はミーティングなどで話し合い、反映できるように取り組んでいる。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	○	○	○	○	○				